

2011 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 12 月 10 日作成)

小委員会名	鋼構造塑性設計小委員会		主 査 名：玉井宏章 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：緑川光正
設 置 期 間	2011 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2010 年に改定された『鋼構造塑性設計指針』の改定作業を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・2011 年度 基礎データの収集, 改定項目を明確化する. ・2012 年度 基礎データの収集, 各章の章立てを検討する. ・2013 年度 各章の改定原稿執筆者に原案作成をお願いする. ・2014 年度 改定原稿を完成させるとともに, 鋼構造運営委員会および構造委員会に査読をお願いする予定である. 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し		
	主査：玉井宏章 (広島工業大学) 幹事：五十嵐規矩夫 (東京工業大学) 委員：高松隆夫 (広島工業大学)・金尾伊織 (京都工芸繊維大学)・広重隆明 (竹中工務店)・ 聲高裕治 (京都大学)・佐藤篤司 (名古屋工業大学)・緑川光正 (北海道大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2011 年度予算	290,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	2010 年度の鋼構造塑性設計検討 WG の委員を中心に改定原稿執筆者を加えた小委員会をつくり改定作業を行った。『鋼構造塑性設計指針』は次に示す 4 つの内容に分けられる。①塑性設計の概要、②座屈を考慮した部材設計、③接合部の設計、④塑性設計手順および設計例、である。それぞれの内容について、責任者を決めて改定原稿の取り纏めをお願いした。 第 1 回(5 月)：指針改定の目的、方針および内容の確認を行うとともに、改定作業計画を議論した。 第 2 回(9 月)：①塑性設計の概要 (責任者：高松委員) の改定内容について検討した。 第 3 回(11 月)：②座屈を考慮した部材設計(板要素) (責任者：五十嵐委員) の改定内容について検討した。 第 4 回(1 月)：②座屈を考慮した部材設計(梁) (責任者：金尾委員)、③接合部の設計 (責任者：聲高委員) の改定内容について検討した。 第 5 回(3 月)：②座屈を考慮した部材設計(柱) (責任者：佐藤委員)、④設計実例 (責任者：広重委員) の改定内容について検討する。2012 年度の計画について検討する。概ね、計画とおりの活動を行った。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 特になし